

保育目標

- ・ 食べることを楽しみ、食事を楽しみあう
- ・ 心と心が通いあう挨拶をする（『おはよう』『さよなら』『ありがとう』『ごめんなさい』等）
- ・ 行事の数を最小限に抑え、行事に追われない保育をする
- ・ 自然の移り変わり(四季)を十分に味わう(城山登山・散歩・園庭の木々等)
- ・ 地域との関わりを大切にする。(職場訪問・遠足・JR赤間駅・城ヶ谷区福祉会・高齢者との関り)
- ・ 思いやりの心を育てる(異年齢児保育)
- ・ 思いやりの心を育てる(異年齢児保育)
- ・ 素直に自分の気持ちが言える子どもにする

クラス担任の評価

0歳児—室内でも全身を動かすことができようになり、ダンボールのすべり台やトンネル、ソファや階段の上り下りをした

一年を通して戸外遊びや散歩など日光や外気に触れる機会を多く持てた

身の回りのことを進んでする姿が多く見られ、保育士の声かけで取り組もうとする

1歳児—高月齢児がみんなを引っ張るようになり、低月齢児が真似をしたり活動に意欲的に参加することができた

噛みつきなどトラブルになることが多かったが、保育士を介しながら自分の気持ちが少しずつ示せるようになった

2歳児—一年を通して明るく笑顔が多く楽しく過ごせることができた

たくさん戸外遊びや散歩をすることができ、自然に触れたり、体を動かして遊んだ行動の前に約束事を伝えることにより、保育士の話を最後まできき、行動できるようになった

3歳児—様々な遊びや生活を通して友達と協力することや全員で楽しんだり参加したり、共有できるように進めていった

一年を通して自分の思いを言えたり、友達同士で会話を楽しみながら過ごせていた身の回りのことを丁寧に言うことの大切さを伝えていった

4歳児—活動前に約束を一つ一つ確認しながら過ごし、約束を守ろうと子ども同士で注意し合う姿が見られる

トラブルがあった際には子どもたちが考え、話しあいができるようになった全員んで協力して何事にも意欲的に取り組んでいる

5歳児—新しい取り組みに慣れず、自分のことで精一杯だったが友達や年下の子に目を向け、思いやりの気持ちおwむって関わり年長児らしい姿が見られた

どのような態度で聞いたり、参加すべきかを考える力が身につき、話し合いを持ち、気持ちを一つにして取り組むことができた

クラスの改善引き継ぎ事項

0歳児—離乳食を普通食と同じ時間にすることで、一緒に活動が楽しめクラスのまとまりが見られた

日々給食室と話をし、食事の量や大きさ、形態など調節でき良かった

1歳児—食事のマナーについて保護者に話しているが、スプーンの持ち方、椅子の座り方が良くない子もいるため引き続き伝えていく

2歳児—ハサミは開閉が難しい子もいたのでバネ付きハサミを使う等工夫は必要だ感じた
箸には興味を持ち意欲的に進められたがグー持ちを子もいるので家庭との連携必要

3歳児—個別の対応が大切で、その子にあった関わり方をしていく

大人が先取って話すので、子どもたちが考え、発言し行動できるようにする

4歳児—食事のマナーについて伝えていたがみにつかないこもいるので引き続き伝えていく
食事や活動の中でその子にあった対応をしていく必要がある

5歳児—いのちのたび博物館に電車に乗って行ったり良い体験になったので続けてほしい

クラス担任以外の評価

- ・コロナ対応に追われたが、保育や行事の見直し、確認をすることにより職員の連携ができた
- ・ICT導入で保護者連絡など便利になった。負担なく導入を進めていく
- ・支援が必要な家庭があり、いろいろな機関と連携を取っていったがよい結果にならなかったことが残念
- ・提出書類が多くなり、様式の変更難が有り作成が難しかった
- ・職員確保が思うようにいかず職員の働き方を考え勤務体制の提案をしていった

クラス担任以外の改善引き継ぎ事項

- ・給食を通してもっと子どもと関わりを持つ
- ・コドモンやホームページを活用して保護者に保育園のことを上手く伝えていく
- ・防災マニュアル、危機管理マニュアルの見直しを職員全員でし、共通理解を深める
- ・細かなことも話し合い、園児、職員確保につなげ、余裕のある園運営につなげる